

平和への願いを込めて  
殉公者追悼式が執り行われる

6月15日、平和の碑広場で、戦没者を慰霊し恒久平和への願いを新たに「殉公者追悼式」が執り行われました。

黙とう、国歌斉唱に続いて、式典委員長の佐藤多一町長が式辞を述べ、「平和を求めると気持ちは同じでも、国家や宗教の違いなどからさまざまな紛争が起きています。英霊の平和への願いを無にすることのないように、努力しなければなりません」と訴えました。

北海道知事（代読）、鹿中順一町議会議長による慰霊の辞に続いて、戦没者遺族や来賓、関係者など式典参加者が平和の碑に献花を行い、平和と鎮魂の祈りを捧げました。



第18回でこいまつり  
多くの人が屋台とステージに集う

5月26日、でこいまつりが開催され、多くの人で賑わいました。

春らしい陽気に恵まれた中、ステージ前に設置された屋台には焼きそば、焼き鳥、貝付きホタテ焼きなどが用意され、食欲をそそるにおいに引かれてたくさんの方が買い求めていました。



また、ステージ上では、キッズジャズダンススクールの元気なパフォーマンス、スヤ、津別中学校吹奏楽部の日ごらの演習成果などが披露され、集まった観客からは盛んな拍手が送られていました。

# topics

まちのわだい

地域の人が気軽に集まれる場に  
「柏町いきいきサロン」開設

年齢を問わず、地域の人が気軽に集まれる場として、「柏町いきいきサロン」が開設されました。

6月17日、拍寿園で開かれた開所式には15人が参加。自己紹介の後、健康体操や的のめがけてボールを転がすベタンクというゲームを楽しみ、お昼は地域の女性たちが作ってくれたそつめんをいただきました。参加者からは、「みんなと顔を合わせて嬉しかった」「ゲームが楽しかった」という声があふれ、今後毎月17日に開催し、内容もみんなで楽しめるものと考えていることをしました。



地域包括支援センター（☎76-2158）では、サロンを開設する団体を応援する活動を行っています。希望団体は、お問い合わせ願います。

津別町老人クラブ連合会総会  
平成25年度事業計画等を承認

5月31日、平成25年度津別町老人クラブ連合会総会が林業研修会館で開かれました。

伊藤会長及び佐藤町長（林教育長代読）の挨拶に続いて、議長を選出。この後、平成24年度の事業報告と収支決算、平成25年度の事業計画等が議案として提出され、いずれも賛成多数で承認されました。

事業計画には、クラブ会員加入の促進や交通安全対策事業の実施等が盛り込まれています。



子どもたちの安全を願い  
反射素材のバッジを寄贈

5月30日、津別町交通安全協会（柳瀬輝彦会長）から、反射素材でできたキャラクターバッジ1000個が教育委員会へ寄贈されました。

親しみやすいデザインの2色のバッジは、光を反射する性質の素材を使用しており、夜間でもよく目立ちます。

町内の小中学生全員に配られるほか、交通安全教室の会場やつべつふるさとまつりのブースなどでも配布され、夜間の安全な通行に役立てられます。



北見相生郵便局  
地域の催しをパネルに展示



北見相生郵便局（猪澤航局長）では、地域で行われた催しの写真を貼った手製パネルをロビーに展示し、利用者に喜ばれています。

写真はすべて、昨年4月に着任した猪澤さんの撮影によるもの。一枚一枚に分かりやすい説明文を付けるなどの工夫がなされています。

これまでは主に老人クラブの集まりを取り上げていましたが、今後はこの春に開設された「あいあいさろん」を含め、様々な催しの写真を展示して、地域の人々への情報提供やコミュニケーションの活性化に役立てたいそうです。

町の森づくりに貢献

丸玉産業(株)が紺綬褒章を受章

6月6日、丸玉産業(株)（大越敏弘取締役社長）が紺綬褒章を受章し、伝達式が丸玉産業応接室で行われました。

紺綬褒章は、公益のために多額の私財を寄付した功績のある者に天皇と総理大臣から授与される褒章で、丸玉産業は平成20年度から町に対し、1千万円の寄付を続けていたため、今回の受賞に至りました。

褒章に対し、大越取締役社長は「名誉ある褒章をいただきありがとうございます。今後とも地域に貢献していきたいと思えます」と話し、佐藤町長は「町としても誇りに感じております。今後とも地域の発展にご協力をお願いします」とお礼を述べました。



賞状の伝達を受ける大越取締役社長（写真・左）

交通安全&防犯啓発資材寄贈  
スクールバスの車体に掲示

6月3日、津別町交通安全協会（柳瀬輝彦会長）並びに津別町防犯協会（佐々木利明会長）から町に、交通安全啓発資材と防犯啓発資材がそれぞれ寄贈されました。「シートベルト 命をつなぐパートナー」など、町内の小中学生が作った交通安全標語や、振り込め詐欺に関する注意喚起がプリントされた車体表示用のシールは、混乗スクールバスの側面に掲示し、交通安全及び防犯啓発活動に役立てられます。

